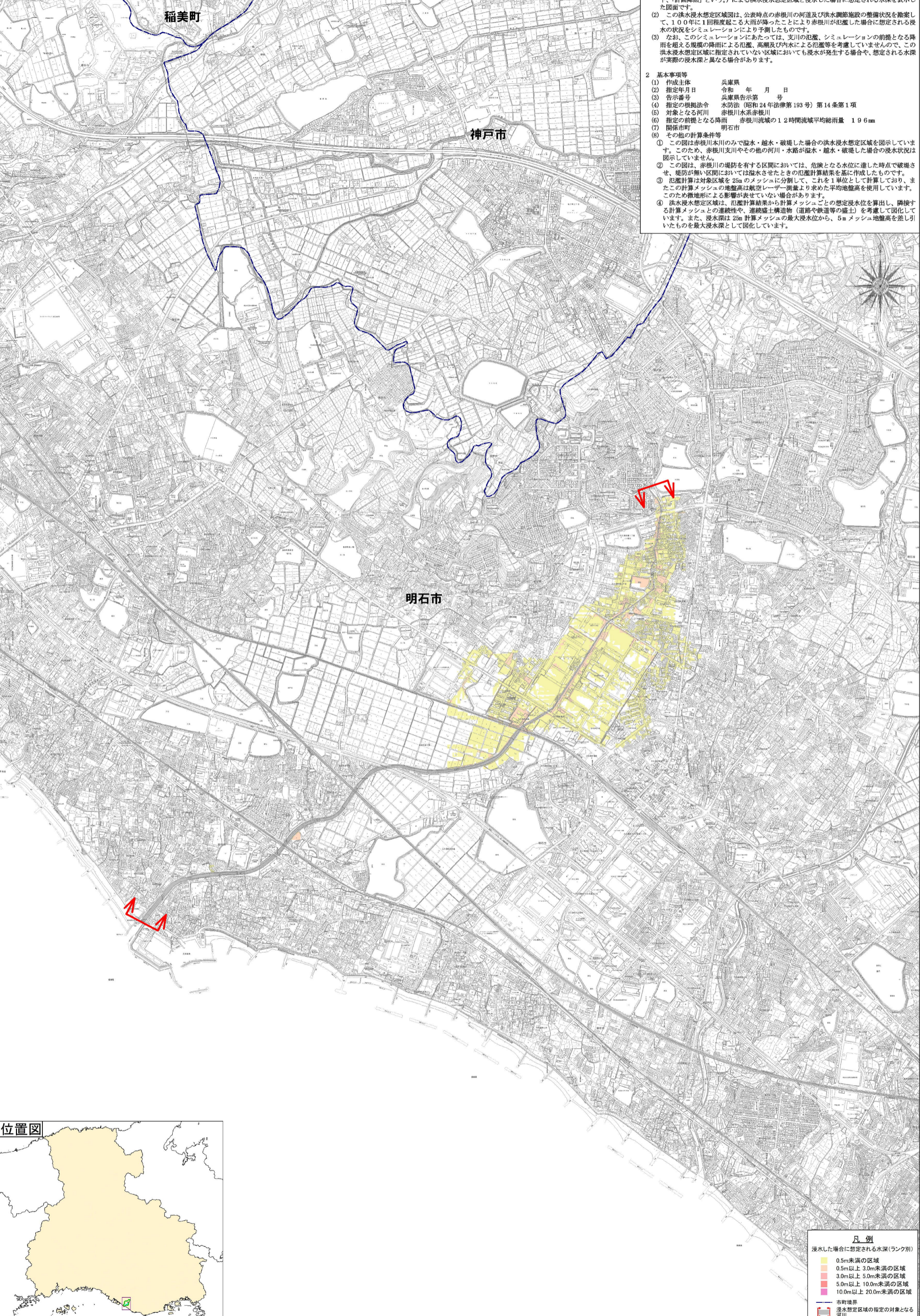


赤根川水系赤根川 洪水浸水想定区域図 計画規模【1/1】



- 1 説明文
- (1) この図は、赤根川水系赤根川の水位周知区間について、基本高水の設定の前提となる降雨(以下、「計画降雨」という。)による洪水浸水想定区域と浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 - (2) この洪水浸水想定区域図は、公表時点の赤根川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、100年に1回程度起こる大雨が降ったことにより赤根川が氾濫した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - (3) なお、このシミュレーションにあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- 2 基本事項等
- (1) 作成主体 兵庫県
 - (2) 指定年月日 令和 年 月 日
 - (3) 告示番号 兵庫県告示第 号
 - (4) 指定の根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第1項
 - (5) 対象となる河川 赤根川水系赤根川
 - (6) 指定の前提となる降雨 赤根川流域の12時間流域平均総雨量 19.6mm
 - (7) 関係市町 明石市
 - (8) その他の計算条件等
- ① この図は赤根川本川のみで溢水・越水・破堤した場合の洪水浸水想定区域を図示しています。このため、赤根川支川やその他の河川・水路が溢水・越水・破堤した場合の浸水状況は図示していません。
 - ② この図は、赤根川の堤防を有する区間においては、危険となる水位に達した時点で破堤させ、堤防が無い区間においては溢水させたときの氾濫計算結果を基に作成したものです。
 - ③ 氾濫計算は対象区域を25mのメッシュに分割して、これを1単位として計算しており、またこの計算メッシュの地盤高は航空レーザー測量より求めた平均地盤高を使用しています。このため微地形による影響が表せていない場合があります。
 - ④ 洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュごとの想定浸水水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や、連続堤土構築物(道路や鉄道等の盛土)を考慮して図化しています。また、浸水深は25m計算メッシュの最大浸水水位から、5mメッシュ地盤高を差し引いたものを最大浸水深として図化しています。

位置図



凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

0.5m未満の区域
0.5m以上 3.0m未満の区域
3.0m以上 5.0m未満の区域
5.0m以上 10.0m未満の区域
10.0m以上 20.0m未満の区域

市町境界
 浸水想定区域の指定の対象となる河川